

9月に入りました。新聞には、東加古川駅付近で県内の高校生
の列車事故のニュースが報道されました。心が痛みました。始業式



では学期初めのこの時期の自殺が多いという連絡をしました。事故も含めて若い人が亡くなるということは未然に防がなければなりません。悩みや相談事などあれば担任、部顧問、学年の先生方に(私でも結構です)必ず話をしに来てください。そして自転車通学の多い本校では事故等にも十分に注意をして高校生活を送ってほしいと強く思いました。

神戸新聞には、東北ボランティアの話が掲載されました。前生徒会長岡田さんをはじめ木下さん、山本さんの3名を中心として全校生徒への報告資料を作成中だそうです。その地域に行ったものでしかわからない経験や感想をしっかりと「伝える」ことが大事だという記事通り、少しでも災害にあわれた地域のことやそのことから私たちができること、今後

しなければならぬことが見えてくるとおもいますので、報告を楽しみにしています。

今週開催の体育祭についても、練習が始まりました。サッカーグラウンドが会場となるため草刈り等の準備を予定していましたが、校務員さんが丁寧に仕事をしてくださる、前もって刈っていただいていますので草刈りについての準備はいらなくなりました。校務員さんには広い敷地内をいつもくまなく整備をいただいています。暑い中本当にありがとうございました。

周囲を見渡すと少しずつ季節は進み、秋の気配を感じることも多くなってきました。日の出の時間は少しずつ遅くなり、日の入りの時間は少しずつ早くなってきましたし、田んぼの稲も背丈が伸び稲穂が黄色くなってきました。間もなく稲刈りの時期になってきます。同時に各地でお祭りの準備も始まるのでしょうか。体育祭が終われば地域にはお祭りのムードが漂い、秋を十分に感じられる季節になっていきます。その秋の過ごし方を考えましょう。始業式でも言いましたが「〇〇の秋」、スポーツや読書など具体的なものを〇〇の中に入れて、過ごしやすい時期を充実させようということです。部活動と勉強をしているとなかなかそういった自分の時間を作ることは難しいですが、あまり時間がないからこそそういった時間を設けて短い時間だけでも楽しむことを覚えていけば、ライフワークバランスを整えることにもつながり将来的にも生活を充実させることができるのだと思います。特に最近スマホの所持率が高くなり、映像を見るのが多く文字離れが進んでいるのではないかという声も聞きます。自らの進路実現、自己実現を図る意味においても関心のある書物を読んだり、ニュースを聞いたり見たりすることは今の時期とても大切になってくるとおもいます。ぜひ活字に触れる時間を作ってください。

野球の県秋季大会の抽選が行われ、本校は14日和田山高校との試合から始まることになりました。勝てば16日に長田高校と対戦することになっています。昨年度ベスト4まで残りながら3位決定戦に敗れ惜しくも近畿大会出場を逃しているだけに今年はぜひ勝ちあがって近畿大会まで行ってほしいですね。その先には選抜出場も見えてきます。2004年選抜大会ベスト4という結果を出した学校だけに16年ぶりに出場を決めてほしいと願うのは私だけでなくOBの思いであると思います。しっかりと備えをして大会に臨み自分たちの試合ができるよう頑張ってください。また、陸上部も13日から和歌山で行われる近畿ユースに出場します。体育祭終了後の厳しい日程ですが、来年度を占う大会

です。バドミントン部は7.8日に県新人大会が豊岡で開催されました。

私は開会式で部長挨拶をさせていただきましたが、例年この大会は豊岡で開催しているとのこと。とても暑い中でしたが、館内は空調が効いており、まだやりやすかったと思います。今回は個人のダブルスとシングルのみということでしたが、12組近畿大会へ出場でき



るところ本校は男子ダブルスで藤本・中岡ペアが準優勝、赤松・岩本ペアがベスト8に入り、シングルスでは、藤本選手が準優勝、岩本選手、赤松選手は近畿大会出場決定戦で勝ち上がり、ダブルス2ペア、シング

ルス3人が近畿大会出場を決めました。女子はシングルスで石田選手が近畿大会出場決定戦を勝ち上がり見事近畿大会出場を勝ち取ったようです。団体戦はこれからということで団体戦でも頑張ってほしいですね。



また、9月6日は県の普通科校長会があり、京都市立堀川高等学校の改革で有名になられた現在大谷大学教授の荒瀬克己氏が、講演をされました。新学習指導要領に向けた普通科高校のカリキュラムマネジメントや総合的な探究の時間にすべきことやその考え方を堀川高校改革の姿

勢と合わせて話をされたのですがとても参考になりよい講演を聞くことができました。私たち教員にとっても耳の痛い話もありました。例えば「満足した時点で緩やかな下り坂は始まる、気づいたときにはかなり下っている」という内容の話です。一つの成果を上げたとき、ホッと一息を突きますが、その一息の時間が長くなれば下り坂に入るということでしょう。私たち自身も、もちろん生徒の皆さんも安堵感、充実感が必要ですが、ちょっと気になることをしっかりと考え、継続して発展させていくことができるようにならないと前を向いて行けないように理解し、一つの目標を持ってそれを達成できたら、現状を理解し、次に進むことを常に考えていくようにしていきたいと思えます。さらに在籍する学校を選択した理由でその進路選択の満足度が高かったのは、将来就きたい仕事と関連しているからという理由で在籍校を選んだ生徒の満足度が高く、親や中学校の先生に勧められたからといった理由で進路選択して現在の学校に在籍している生徒は、満足度が低いというデータも紹介されました。当たり前と言っては失礼ですが、当たり前のことです。自分たちでしっかりと考え何事も調べたり、選ばせたりすることが大切で、考えるきっかけをなくしてしまったり、考えさせなかったりすることが子供たちにとってはキャリア形成にマイナスになるということを改めて理解することになりました。このことは今後の入試にも影響してきます。自分で考える経験を積み、自分で答えを導くことが探究です。面接や小論文だけでなく、いろいろな教科の問題にも問題文をしっかりと読み込んで考えなければ解けない内容が増えてきます。今までのように覚えたら終わりという問題は少なくなってくるでしょう。それが新学習指導要領にも掲載されています。今回の講演をきっかけとして私たちが生徒に考えさせなければならないことを理解し、指導できるようにお互いに情報共有を図り、取り組みを進めていかねばならないと実感しました。

今週は、体育祭があります。涼しくなってくるのかと思いきや真夏の暑さがぶり返してきました。暑さ対策も取りながら体調管理に努め、3年生のにとっては最後の大きな行事となる体育祭成功に向けて頑張っていきましょう。